

令和元年度第12回士別市教育委員会会議録

1. 日時 令和元年11月12日(火)午後4時00分～午後5時28分
2. 会場 教育委員会 教育長室
3. 出席者 教育長 中峰寿彰 生涯学習部長 鴻野弘志
職務代理者 五十嵐紀子 朝日地区スポーツ統括監 長南広基
委員 馬場千晶 学校教育課長 須藤友章
委員 加藤洋之
委員 山田敦久

4. 議件(発言者、議事要旨及び議決事項)

○中峰教育長あいさつ

新しい体制になった直後の上川教委連研修(東神楽)へのご参加、お疲れ様でした。

2回目となる教育委員会会議を開催する。

昨日は溶けたものの、週末から20センチほどの降雪があった。新聞報道されたが、いぶきの外壁改修工事現場で残念な事故が発生してしまった。教育委員会は多くの施設を管理しているため、注意を怠らないよう周知する。

11月6日、7日は帯広市で開催された都市教委連の教育長部会に参加した。層雲峡では吹雪、三国峠は圧雪、占冠では氷点下の気温であった。会議ではさまざまな課題が出たが、本市からは「インクルーシブ教育における教員の体制」について提案した。

東神楽の研修で、ICTの整備について講演があったが、文科省では「ギガスクールネットワーク」構想として、令和2年度からの3年間でICT整備を進めるための補助金を計上する考えを表明した。本市でも上手く補助を活用し、整備を進めていきたい。27日に開催する総合教育会議に向け、現在の課題や反映すべき点を整理していく。

本日もよろしく願います。

1 議事について

○中峰教育長 進行

議案第28号 令和元年度士別市教育委員会補正予算について説明を求める。

○鴻野部長

令和2年4月1日から委託する業務について、債務負担行為を行うものだが、昨年まで教育委員会議の議題としていなかった。サンライズホールを指定管理し、契約事務を進めるためには予算の裏付けが必要となる。なお、指定管理は5年契約とするが、議案の金額は1年分のもの。

○中峰教育長

指定管理をするにあたり、受託者の公募は行わず、舞藝舎に内容提案の依頼をした。これまでどおり直営で管理した場合と比較すると、9千万円ほど圧縮できる見込み。その他の施設についても利用状況などを確認し、開館日や時間を検討したい。最大限、市民サービスの低下を招かないよう工夫したい。

○長南統括監

農業者トレーニングセンターの指定管理は、次年度から3年間となるが、和が舎の指定管理と更新の時期がずれているので、どこかのタイミングで合わせたい。

○中峰教育長

本市では3年間の契約が多い、コスモス苑や桜丘荘は5年間で安定して継続している。サンライズホールではアウトリーチなど、学校との関わりも深いため、教育的な観点から5年にしている。外部から事業者が参入する可能性は少なく、受け手が少ない中で将来的な事業継続についても考慮していきたい。

※ 議案第28号 了承

○中峰教育長

議案第29号 土別市朝日サンライズホール条例施行規則の一部を改正する規則について、及び、議案第30号 土別市朝日サンライズホール管理運営事務取扱要綱の一部を改正する要綱について一括して説明を求める。

○鴻野部長

これまでサンライズホールの休館日は年末年始のみであり、開館時間も午前9時から午後10時までとされていた。指定管理に移行する際には、利用がない場合は閉館とすることとし、使用日の3日前までに申請を受け付けるもの。そのため、土日祝日は原則閉館となることを想定している。

○五十嵐職務代理人

図書室の利用はどうなるのか。

○鴻野部長

図書室の運営は図書館が直営で行う。土日祝日における図書室の利用率としてはそこそこあるが、実際の利用者は4人程度であるため、土日祝日は閉館する方向で検討している。

○中峰教育長

ロビーのエリアも同様である。

○五十嵐職務代理人

中学生が勉強している姿を見かける。月曜から金曜は使えると良い。

○中峰教育長

図書室については、移動図書館で対応することなども検討している。数人の利用者なので特定することが可能であり、利用実態について直接意見を伺うことも考えたい。

○五十嵐職務代理人

利用者の立場としての意見だが、照明・暖房なども見直すことができるのでは。例えばトイレの照明は利用者がいない場合でも消すことができない。無駄が多いと感じている。

○加藤委員

いぶきの地下なども子どもたちの居場所になっている。

○長南統括監

サンライズに居ることができなくなった場合、農業者トレーニングセンターの利用も想定しうる。

○鴻野部長

利用がなければ午後7時以降は閉館の考え。

○加藤委員

いぶきの地下にも小学生・中学生・高校生が、それぞれ帰宅する時間を掲示している。

○山田委員

図書室を利用しているのは季節にかかわらず4人程度なのか

○鴻野部長

ほぼ変わらない。

※ 議案第29号、議案第30号 了承

2 その他について

総合教育会議の開催について

○中峰教育長

東神楽で開催された研修会で、ICT 整備について講演があった。文科省も整備促進のための補助金を予算要求し、「GIGA スクールネットワーク構想」を発表した。本市でも補助金を有効活用し、整備を進めるよう総合教育会議でも求めたい。「GIGA スクールネットワーク構想」は3年限りとのことであり、できるだけ早くに整備したい。なお、整備には「光回線」が必須であり、国（文科省）は、「光回線」が通っている事を前提として構想している現状にあり、地域の実情を理解しているかという疑問である。

○五十嵐職務代理者

士別中で開催された研究大会では、2年生の理科の授業を見学した。機材を有効活用して、太陽の大きさなどについて分かりやすく説明していた。教科によっては機材を活用しやすいと感じる。

○中峰教育長

国語などの場合はどうか。

○五十嵐職務代理者

小さいものを大きく見せた時に子どもたちの反応が良かった。

○馬場委員

中学校では大型のモニターを使用していたが、小学校のものは小さかった。

○鴻野部長

活用の度合いは、学校や先生の思いによっても違う。

○中峰教育長

最終形として、どういった機材を学校に整備するのかを考える必要がある。短いスパンで入れ替えることも想定しなければ10年後には性能的に使えなくなる。もっと積極的なツールとして使用しなければならない。

研修会の講師が校長を務めた学校では職員室のゾーニングも行われていた。児童生徒が入ることができる場所や、個別面談や電話相談を専用に行うための場所を区分けすることによって、プライバシーを保護し、必要な情報を教職員が共有し、非常時には速やかに持ち出しできるように考えられていた。

○山田委員

タブレットを活用すれば、紙のファイルは必要ない。

○加藤委員

市議会でも導入した。関心が高い人や慣れている人は問題ないが、慣れない人は大変かもしれない。

○中峰教育長

当面の課題や、各委員が感じていることなど、意見をお聞きたい。

○五十嵐職務代理者

教員の数不足していると感じる。いろんな子どもがいるので、支援員がいれば教員は集中して授業ができる。

○中峰教育長

市費の支援員の配置拡大か、それとも正規の教員を増やすということか。

○五十嵐職務代理者

もう一人正規の教員がいればと思う。

○中峰教育長

全ての校長と人事協議を行った際に、加配教員の確保や、支援員の配置などについて意見交換した。現在、支援員の勤務時間が短いため、フルタイムで勤務してほしいとの要望があったが、雇用される側にも都合があり、対応可能か確認が必要。教員が道費で配置されない場合は、市費で配置するという方法もあるが、相当の経費が必要となる。例えば、日本語をまったく話せない子どもが就学した場合、コミュニティスクールを通じて地域に協力を依頼するという方法も考える必要がある。今年、士別小にはスクールサポートスタッフが配置されている。他の学校でもスタッフを拡充する必要があると感じている。

○馬場委員

スタッフが不足すると、雑務にとらわれ体をこわす人も出てしまう。中には先生の仕事とは思えない業務もあり、時間をもったいないと感じることがある。例えば、水泳の指導はできないが、着替えを手伝うなど、何らかの形で先生をサポートできるのではないかな。

○中峰教育長

生活に余裕がなくなり、ストレスからメンタルが弱ってしまう事もある。コミュニティスクールを推進し、自治会などにコンタクトを取れる体制が必要。

○加藤委員

実物投影機など ICT の活用を推進すべき。

○中峰教育長

全てをリクエストするか、一部を先行導入するか、内容によって違う。

○山田委員

とても経費が必要だとわかった。人にも設備にもバランスをとりながら進めていかなければ。その中で優先順位を決めなければならない。

○五十嵐職務代理者

先日受けた研修のおかげで、そう感じるようになった。学校に合ったやり方がヒントになれば良い。

○加藤委員

先生は上手く時間を作って、子どもたちに関わる時間を増やしてもらいたい。

3 その他について

当面する今後の日程について

鴻野部長説明。

午後5時28分 会議の終了を宣した。

この会議は、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

署名者 中峰 寿彰

会議録調整者 須藤 友章